

第4号様式（要綱第6条関係）

2026年度 第2回 藤沢市立善行中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2026年 7月 3日（金） 10時～

場 所 善行中図書室

出席委員	山口 燿子（善行地区自治会連合会会長） 亀谷 亀雄（会長・社会福祉協議会理事） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 石塚 義之（善行市民センター センター長・善行公民館 館長） 佐藤 康智（善行市民センター所属） 齊藤 正枝（コーディネーター・三者ふれあいネットワーク会長・青少協会副会長） 松本 美由紀（前社会福祉協議会（CSW）） 熊谷 晴香（社会福祉協議会（CSW）） 渋谷 弥生（一般社団法人善行大越スポーツクラブ アシスタントマネージャー） 大林 文（民生委員 主任児童委員） 小澤 優子（善行中学校前PTA会長） 幕内 由紀（善行中学校PTA会長） 安室 康子（副会長・校長） 大村 裕美子（教頭） 實方 桂子（生徒支援担当） 【欠席者】 なし 【傍聴者】 なし
次第	1 開 会 2 善行中学校の様子 3 議 題 （1）今年度の取組について ・各グループ協議 ・全体情報共有 （2）その他 ・試食会について ・連絡手段すぐーる変更について 4 閉 会
協議内容	1. 開会・挨拶 ・前回の欠席者および4月に着任した大村教頭より挨拶。 ・次第に沿って進行することを確認。 2. 学校の様子と教育活動報告 ・修学旅行（3年生）：6月16日～18日に神戸・京都方面で実施。 ○遅刻者や体調不良者もなく、無事に終了。 ○神戸での震災学習（人と未来防災センター）では、語り部からの講話や映像を通じ、地震への意識を高める集大成の学びとなった。 ○京都では座禅体験や、受験生として北野天満宮での祈願など、藤沢では得られない経験を積んだ。 ・学び場ジュニア（2年生 職業・キャリア学習）：専門学校の講師等を招き、ネイル、PC、美容、商品企画、調理（きゅうりの飾り切り）などの体験を実施。

- 部活動・大会：夏の大会が開催中。バドミントン部やバスケットボール部などが奮闘している。3年生が少ないチームでも下級生を牽引して活動している。
3. 部活動の地域移行についての現状と課題
- 全国的な流れとして地域移行が求められているが、現状は進んでいない。
 - 小規模校のため、野球部など人数不足で合同チームを組む部活もある。
 - 地域から指導者を紹介しても、教育委員会の基準（特に土日の引率可否や副業規定）に合わないことがあった。
4. グループ協議報告
- 支援グループ：
 - 不登校や家庭の孤立を防ぐため、保護者セミナー・座談会を年2回（夏前と冬）開催したい意向があったが、学校側のスケジュール等の都合で11月の1回のみとなった。
 - 委員より「大人の事情より子供や家庭のニーズを優先すべき」との指摘があり、8月末から9月にかけて市民センターを活用した追加開催を検討することとなった。
 - 防災グループ：
 - 10月3日の「防災フェア（市民センター）」にて3年生が学習成果を発表予定。
 - 地域住民の約40%しか自治会に加入していない現状があり、学校を通じた情報発信の重要性を確認。
 - 9月4日には1年生向けに防災講演会を実施予定。
 - 行事・ボランティアグループ：
 - ボランティア募集がデジタル配信（すぐーる）だけでは生徒に届きにくい
ため、カラーポスターの掲示や保護者面談時のチラシ配布など、周知方法を工夫する。
 - 地域の方で「ボッチャ」の指導ができる方と道具がそろっている。学校の授業で活用し、地域交流ができないか。
 - 熱中症対策のテント購入について、コスト抑制のため既存テント間に天幕シートを張るなどのアイデアが出された。
5. 意見交換・周知方法の検討
- 保護者委員より、自身の経験を元に「孤立している時期に情報が入ることで救われる。回数があるのはありがたい」との意見があった。
 - 「すぐーる」は情報量が多く見落とされやすいため、重要な情報はタグを活用する、あるいは学校公開や面談など、保護者が直接目にする機会にアナログな掲示を併用する有効性が議論された。
6. その他
- 給食試食会の提案：次回会議後に、中学校給食の理解を深め、試食会（希望制）を実施予定。
 - 連絡手段の変更：委員への連絡効率化のため、通知アプリ「すぐーる」への登録を依頼。

次回開催日程 2026年 10月 6日（火）10時～
場所 図書室